

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんオペらしんこうかい 公益財団法人 日本オペラ振興会		
代表者職・氏名	理事長・渡辺佳英		
制作団体所在地	〒 150-0001		
	東京都渋谷区神宮前 4-3-15 東京セントラル表参道317号		
電話番号	03-6721-0995	FAX番号	03-6721-0997
ふりがな 公演団体名	ふじわらかげきだん 藤原歌劇団		
代表者職・氏名	総監督 折江忠道		
公演団体所在地	〒 215-0004		
	神奈川県麻生区万福寺1-16-6		
制作団体 設立年月	1981年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 渡辺佳英 常務理事 折江忠道、郡愛子、 下八川共祐、大石修治 外理事15名、監事2名 評議員 19 名 事務局長 小澤慎吾 職員 20 名	○団体構成員(公演事業2部門) 藤原歌劇団(正団員460名、準団員531名) 日本オペラ協会(正会員175名、準会員105名) 計1,087名 ○加入条件 公募オーディション、歌手育成部修了 生より推薦。	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	後藤良基、樋高雄太
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	福島久美子

制作団体沿革	公益財団法人日本オペラ振興会は、藤原歌劇団と日本オペラ協会の統合合併により、昭和56年文部大臣の設立許可を受け「藤原歌劇団」「日本オペラ協会」の名称は法人組織内の公演事業部門として存続させている。藤原歌劇団は、昭和9年6月に故藤原義江により創立され、我が国初の本格的オペラ団体として今日まで公演活動を継続。日本初演を含む80作を超えるオペラをこれまでに上演しており、特にイタリアオペラを主軸とする公演路線は広く親しまれている。 平成24年4月より公益財団法人日本オペラ振興会として認可された。 平成27年4月より折江忠道が第4代総監督に就任している。 年間3～4本の本公演を実施しており、令和2年度はコロナ禍において初のオペラ公演となる「カルメン」を8月に上演したほか、年明け1月には「フィガロの結婚」「ラ・ボエーム」、翌2月には沖縄を舞台とした「キジムナー時を翔ける」を上演し、いずれも好評を博した。				
学校等における公演実績	学校等における 公演実績 平成12年～平成23年文化庁学校公演オペラ「カルメン」 129公演 平成24年～平成26年文化庁学校公演オペラ「魔笛」 37公演 平成25年6月 潤徳女子高校・中学校 藤原歌劇団合唱コンサート 平成28年5月 昭和女子大学鑑賞公演オペラ「椿姫」 平成28年7月 日本女子大学附属高等学校鑑賞教室「カルメン」ハイライト 等 平成29年6月 潤徳女子高校藤原歌劇団合唱コンサート 平成30年11～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 18公演 令和元年11～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 13公演 令和2年10～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 5公演				
特別支援学校における公演実績	特別支援学校における公演実績 平成25年 9月 栃木県立足利中高特別支援学校（文化庁次代を担う子供の舞台芸術体験事業） 平成30年 11月 千葉県立野田特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業）				
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有		
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有		
		※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=2h4Kh6ec2d4&t=756s		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:			
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料			
		※公開資料有の場合URL			
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
	PW:				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 藤原歌劇団 】

対象	○	小学生(低学年)	-	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 全1幕 日本語上演					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 全1幕 日本語上演 作曲／台本:ジャン・カルロ・メノッティ(Gian Carlo Menotti) 演出:岩田達宗 美術:島次郎 衣裳:増田恵美 照明:稲葉直人 振付:鷺田実土里 音響:寺部和貴 公演時間(約 90 分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやってきた！」 ジャン・カルロ・メノッティ(Gian Carlo Menotti) 作曲 全1幕日本語上演 ～あらすじ～ 謎の宇宙人、グロボリンクスが地球へやって来た！ 子ども達は春休みが終わり、スクールバスで学校へ向かう途中、突然バスが故障し、止まってしまふ。そこへ、グロボリンクスが現れ、子ども達は大騒ぎ！運転手のトニーはバス警笛を鳴らしエイリアンを追っ払う。トニーは、グロボリンクスが“アコースティックの音楽”に弱いことを知り、子ども達に楽器を持っているか尋ねる。そんな中、一人だけヴァイオリンを持っていたエミリーは、「私がゆくわ！」と学校へ助けを求めに向かう…。一方学校では、子ども達が来ない、と校長のストーン先生は心配でたまらない。音楽のエタボーバ先生は、子ども達が春休みに楽器を持って帰らなかったとストーン先生に嘆いている。そこに、グロボリンクスが現れ校長先生が襲われてしまふ。先生達は楽器を鳴らし何とかグロボリンクスを撃退する。先生達はそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子どもたちを迎えに行く。さて、子ども達は、先生達は、エミリーは、一体どうなってしまうのか？					
演目選択理由	当団はアメリカの作曲家ジャン・カルロ・メノッティとの縁が非常に深く、1974年にはメノッティ本人を我が国へ招聘し、彼自身の演出により「領事」「電話」「霊媒」といった演目を、藤原歌劇団の本公演で上演し、成果を挙げて参りました。 「助けて、助けて宇宙人がやってきた」は1985年から2年間「文化庁青少年芸術劇場公演」に採択され、地方10か所以上で上演し、多くの学生・児童に鑑賞して頂きました。その公演は、栗岡安彦の演出による、ホールでの大規模上演でした。 本公演は、藤原歌劇団が協力し、多数の所属歌手が出演した2017年11月東京文化会館主催公演のプロダクションにより、平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」において学校公演を行いました。 この作品は、学校が舞台であり子供たちに臨場感のある題材であることから「文化芸術による子供の育成事業」に相応しい演目だと確信しております。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	学校が舞台となっているこの作品では、実際の生徒や宇宙人に扮して、プロのオペラ歌手やダンサーと共演することができます。 -児童、生徒の参加内容は- ・合唱①:学校の生徒役子ども達10人以内 ・合唱②:みんなで校歌を歌って参加(人数上限なし) ・合唱③:学校の生徒役の子ども達10人以内 ・ダンス①:宇宙人役(宇宙人襲来)8人 ・ダンス②:宇宙人役(宇宙人喜びの踊り)8人 ・ダンス③:宇宙人役(エミリーと友達になりたい宇宙人)8人 ワークショップにて、指揮者、ピアニストによる歌の練習、振り付けによるダンスの練習や動きの練習、演出助手による演技の稽古を実施します。本番では、キャストと一緒に出演して頂きます。					
出演者	指揮:仲田淳也/中橋健太郎左衛門 エミリー:中畑有美子/山邊聖美 音楽の先生:佐藤美枝子/別府美沙子 校長先生:折江忠道/持木弘 バスの運転手:岡昭宏/大石洋史 学校の門番:市川和彦/山内政幸 算数の先生:牧野真由美/松原広美 国語の先生:和下田大典/市川有一郎 理科の先生:龍進一郎/岡山肇 アナウンサー:柴山秀明 生徒:安藤千尋/伊藤香織/加藤美帆/芝野遥香/中桐かなえ グロボリンクス(ダンサー):鷺田実土里/上原彰弥/光延真鈴 ピアノ:1名 ヴァイオリン:1名 計20人					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 20 名 スタッフ: 19 名 合 計: 39 名		機材等 運搬方法 積載量: 4 t 車 長: 10 m 台 数: 2 台			

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時30分～ 9時	到着後～12時	13時30分～15時	15分	15時～16時30分	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 当日に10:30～60分程度ワークショップで練習した場面の最終リハーサルを希望。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	各シーン10名程度、劇中で歌う校歌は全校生徒でも参加可能				
	本公演	各シーン10名程度、劇中で歌う校歌は全校生徒でも参加可能				
ワークショップ 実施形態及び内容	児童、生徒の参加内容は、①学校の生徒役の子ども達10人～20人②宇宙人グロボリンクス役8人程度の子ども達が出演します。 ①学校の生徒役の子ども達は先生達と一緒にスクールパスの子ども達を助けに行くところで参加しますが、先ず指揮者、ピアニストによる歌の練習、続いて演出助手による演技の立ち稽古を実施します。子供たちの歌や演技がグロボリンクスを退治できるという気持ちを込めて練習します。 ②宇宙人グロボリンクス役は宇宙人登場シーンで演技をします。振り付けの先生に動きを付けてもらいながら、重要な演技を体得してゆきます。					
ワークショップ 実施形態の意図	10人～20人の子ども達役は歌いながら演技をする、いわゆるオペラの体験を実際に体得できるよう繰り返し練習して覚えていただきます。 グロボリンクス役は宇宙人の特殊な衣裳を着てダンスをします。振付の先生から指導を受けます。躍動感のあるダンスを指導します。全体としては一つのオペラ作品を創り上げる過程を感じることができるよう、楽しみながら歌や演技を体得できるよう指導します。					
特別支援学校での 実施における工夫点	本公演は特別支援学校での実績もあり、途中での体調不良の離席は可能。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

令和4年度 巡回公演 出演予定メンバー表（藤原歌劇団）

役名・役職		出演者	
指揮		仲田 淳也	中橋健太郎左衛門
演出		岩田 達宗	
オーケストラ	ピアノ	高橋 裕子	藤原藍子
	ヴァイオリン	青山 英里香	加藤 由佳
エミリー		中畑 有美子	山邊 聖美
音楽の先生		佐藤 美枝子	別府 美沙子
校長先生		折江 忠道	持木 弘
バスの運転手		岡 昭宏	大石 洋史
学校の門番		市川 和彦	山内 政幸
算数の先生		牧野 真由美	松原 広美
国語の先生		市川 宥一郎	和下田 大典
理科の先生		龍 進一郎	岡山 肇
アナウンサー		柴山 秀明	
合唱	生徒	安藤 千尋	
	生徒	伊藤 香織	
	生徒	加藤 美帆	
	生徒	芝野 遥香	
	生徒	中桐 かなえ	
宇宙人 (ダンサー)	エイリアン（ボス）	鷲田 実土里	
	エイリアン（ブルー）	光延 真鈴	
	エイリアン（イエロー）	上原 彩弥	

- ・ 出演者が1名のみ記載の役柄は、シングルキャストとなります。
- ・ 指揮者、オーケストラ、ダブルキャストの組み合わせは、公演によって異なります。

令和2年度
文化芸術による子供育成総合事業
——巡回公演事業——

藤原歌劇団は、オペラ歌手の藤原義江を中心とする日本の代表的な歌手たちとスタッフによって、1934年(昭和9年)に誕生しました。誕生以来、今日まで、日本初演を含む80作品を超えるオペラを上演し、特にイタリア・オペラを中心に公演しています。藤原義江は人気テノールとして主役で活躍するかわら、初代総監督(プロデュース)として日本のオペラ界の先駆者として偉大な功績を残しました。1985年より三代目総監督にテノール歌手の五十嵐喜芳が就任し、名作を中心にオペラの普及を自指し、外国の歌手、指揮者、演出家をはじめとするとするスタッフを起用し、国際レベルの舞台を上演してきました。また、1986年には日本で初めて字幕を導入し成功を収め、日本オペラ界の向上・発展に力を注ぎました。



藤原歌劇団旗揚げ公演「ラ・ボエーム」(1934年)

オペラはいつごろ生まれたか

1580年代に、イタリア・フィレンツェの貴族で芸術の保護に大変熱心なパウル・デ・バロは、自分の館に詩人・画家・音楽家・哲学者等を招いて、ギリシャ悲劇を復活させようと話し合っていました。このような芸術運動の中でオペラは創られました。

1598年、リヌッチーニ台本、ペーリ作曲の「ダフネ」を上演。これが記録にのこる最古のオペラとされています。その後、1600年10月6日、メディチ家のお祝いに「エウリディケー」(ペーリとカッチーニの共作)が上演されました。これが現存する最古の

五十嵐喜芳総監督が新国立劇場オペラ芸術監督への就任に伴い退任した後も、名作路線を継承し、2003年よりバス歌手の岡山廣幸が公演監督(2014年に総監督)に就任し、意欲的にロッシーニ作曲のオペラ「セビリアの理髪師(新校訂版)」などを上演しました。現在は、2016年4月よりバトリン歌手の折江虎造が総監督に就任しています。

近年では世界で活躍している歌手のマリエッタ・デヴィエーラやアントニーノ・シラグーザを招聘し世界レベルのオペラを上演しています。

今年度は、8月にコロナ禍以降日本初となる本格的なオペラ公演「ビゼー作曲「カルメン」」を上演し話題となりました。今後はモーツァルト作曲「フィガロの結婚」、プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」などの作品を万全の対策を講じながら上演し、日本を代表するオペラ団体としての役割を担っていきます。



助けて、助けて、
宇宙人がやって来た!

「文化芸術による子供育成総合事業——巡回公演事業——」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

藤原歌劇団公演
オペラ1幕 日本語訳上演
ジャン・カルロ・メノッティ作曲
歌詞原訳 薬園 安彦

助けて、助けて、



物語

春休みが終わり、スクールバスに乗って子供たちが学校に向かっている途中、バスが故障して止まってしまふ。
そこへ突然、光るエイリアンがあらわれ襲いかかってきた!!
バスの運転手のトニーがクラクションを鳴らすとエイリアンは逃げていく!
トニーはラジオを付ける。「エイリアンはアコースティックの音楽が弱点」と最後のニュースが流れる。
子供たちの中で唯一ヴァイオリンを持っているエミリーは、助けを求め学校に向かう。
その頃、学校では子供たちの到着を待っている校長先生がエイリアンに襲われてしまふが、先生たちが楽器を鳴らしエイリアンを撃退する。しかし校長先生は声が出なくなってしまう。
先生たちはそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子供たちを迎えに行く。
先生たちはバスに取り残された子供たちとトニーを見つめるが、そこにエミリーがいらないことに気づく。
校長先生はだんだんエイリアンになりかけけるものの、人間として最後の力をふりしぼってエミリーを探しに飛び出していき、先生たちと子供たちも校長先生を追いかけける。
はたしてエミリーを見つけることが出来るのか!!



指揮／仲田 淳也
演出／岩田 達宗

《キャスト》

【10/22・23】	【10/26・27】
エミリー 善業の先生 校長先生 バスの運転手 学校の前衛 算数の先生 国語の先生 理科の先生 アナウンサー* 生徒*	山邊 聖美 別府 美沙子 持木 弘 大石 洋幸 山内 政幸 牧野 真由美 大野 浩司 岡山 肇 伊藤 香織 中村 かなえ 光延 真鈴 *…10/22・23・26・27出演
グロボリングス*	
演奏 ピアノ	高橋 裕子 藤原 藍子 青山 英里香 加藤 由佳
ヴァイオリン	



《スタッフ》

総監督 美術デザイナー 衣裳デザイナー 照明デザイナー 振付 舞台監督 演出助手 舞台監督助手 音楽スタッフ 小道具 大道具 衣裳操作 照明操作 ヘア・メイク 運送 協力 制作	折江 忠道 島 二郎 増田 恵美 稲葉 直人 青木 央 齋藤 真二郎 渡邊 真二郎 橋詰 陽子 米田 順子 今野 菊子 ザ・スタッフ 東宝舞台 セマ・ワークショッップ A.S.G 丸善 グリーンライン光進株式会社 東京文化会館(公益財団法人 東京都市文化財団) 公益財団法人日本オペラ振興会
--	--

オペラはこうして創られる。

企画（出演者・スタッフ交渉）
オペラの上演企画は、まず〈演出を決める〉ことから始められます。主催団体に適った作品で、なおかつ顧客の要望に見合ったものかどうか考え合わせた上で選曲されます。また同時に約1〜2年後の公演日を設定し、会場も決められます。

スタッフ会議

スタッフのみなめとなる指揮者と演出家が決まったところからキャストティングが行われます。指揮者のもとに合唱指揮者、前指揮者、ピアノリストが音楽スタッフとして、演出家のもとに舞台監督、美術、衣裳、照明の各プランナーが演出スタッフとしてそれぞれ構成されていきます。これらのスタッフに制作者も加わり、スタッフ会議が行われ、ここで上演意図、演出プラン、作曲の解釈などについて綿密な打ち合わせがなされるのです。

音楽稽古

さて、いよいよ稽古の始まりです。出演者たち（ソリスト及び合唱）は各自十分な読込みをした上で音楽稽古に入ります。ここでは楽譜を正確に歌うことに主眼がおかれ、音楽稽古の総まとめとして、ソリストと合唱による合同稽古が行われます。一方、舞台装置、衣裳などのデザインもこの頃決定され、各製作会社に発注されます。

企画（出演者・スタッフ交渉） 2年前	スタッフ会議 6ヶ月前	音楽稽古 12週間前	立ち稽古 6週間前	通し稽古 2週間前	分乗稽古（分乗稽古） 5日前	本番 当日
-----------------------	----------------	---------------	--------------	--------------	-------------------	----------

立ち稽古

出演者が暗譜した頃、歌に演技をまじえての本格的な立ち稽古が行われます。演出家のほかに指揮者も加わり、劇と音楽が一体化されていきます。出演者は立ち稽古のあい間をぬって、衣装合わせ、かつら合わせ、持ち道具の確認を行い、少しずつ本番の雰囲気近づけていきます。

通し稽古・オーケストラ練習・オーケストラ合わせ

立ち稽古の総仕上げとして行われるのが、通し稽古です。これは、部分的な稽古で細り下げたことを一つの線にまとめていく上で欠かせないもので、一幕から終幕まで順を追って進められていきます。通し稽古も終わろうとする頃、オーケストラ合わせが行われます。

舞台仕込み・舞台稽古（ゲネプロ）

舞台稽古にそなえて、舞台装置が組み立てられ、照明が吊り込まれ、照明合わせが行われます。ここまででほぼ本番と同じ条件が整う、いよいよ総合舞台稽古となります。通常「ゲネプロ」と呼ばれ、本番通り一幕から終幕まで通して行われるもので、ここで作品にいっそう磨きがかけられ、いよいよ初日の幕が開くことになるのです。

ID	D49	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	藤原歌劇団				制作団体名	公益財団法人 日本オペラ振興会			

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	5室	条件	男声、女性出演者、音楽スタッフ、衣裳メイク、参加生徒の着替え部屋の5室です。目隠しが可能な部屋を希望します。 また、学校にある洗濯機の使用を希望します。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	2台	大型バス	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック2台は体育館回りに駐車または停車。				不可	
	搬入車両の横づけの要否 *							不可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 1階よりも上または下の階の場合、最低でも5名以上のお手伝いが搬入出作業時に必要				不可	
	理由			舞台用大道具を搬入する為					
	設置階の制限 *			1階以外の場合、搬入経路について要事前相談				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m		高さ	1.8m	不可	
WSについて	参加可能人数		各シーン8~10名程度。 ただし、劇中で取り上げる校歌は全校でも参加可能です。					可	
	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	小学生			可	
	所要時間の目安 単位:分		途中休憩を含め、約90~120分程度。 参加生徒数が少ない場合は、多少の調整を相談可能です。					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			600名程度。 ただし、コロナ対策としてディスタンスを確保する場合、この限りではありません。				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	9m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物がなく、通り抜け可能なこと				可
		緞帳 *	要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	演出上、暗転できる環境に照明を仕込む必要があるため。				可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *			※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				可
		ピアノの事前調律 *			可能な限り、事前の調律をお願い致します。 (難しい場合は持ち込みの電子ピアノで対応)				可
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の必要容量				不可	
	その他特記事項							応相談	
	体育館でないホール公演となる場合、前日までの仕込みが必要となります							不可	
午前中から仕込み・リハーサルを行うため、開演時間は「13:00以降」となります							不可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	0			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

